

もう一つのこだわりが、構成に統一感が乏しく、疾患別の研修を系統的に学べるコンテンツを独自に制作していることだ。薬剤師の生涯教育研修の場合、各疾患のオーソリティに講演してもらう形式が一般的といえるが、疾患の講師任せで内容の構成に統一感が乏しく、最新治療を学ぶには適していない。疾患の基礎から病態なども含めて体系的に学べるコンテンツが望まれていた。

法人の研修部門や受講者のニーズに対応するため、60疾患について「疾患のメカニズム」「最新治療」「服薬指導」という主な構成で疾患の知識を系統立てて学べるよう、30分のコンテンツを3本立てで各疾患を解説する。豊富なコンテンツを提供しているのも魅力の一つだが、コンテンツの1つひとつのクオリティも重視している。

一方、複雑な研修認定薬剤師制度もサポートする。新規単位取得から更新、新規単位取得から更新、PECSへの単位反映まで、マナボプラの事務局がきめ細かなメールや電話によって支援する。受講料金についても「薬剤師の研修はコストではなく投資であり、質の高い研修が薬局の未来を作る。MPラーニングを通じて質の高い研修を提供し、薬剤師のレベルアップが患者さまの信頼につながる。収益にも寄与できるようサポートしたい」と話している。

薬学のエキスパートを養成へ

京都薬科大学は、近年、社会人向けの生涯教育に力を入れている。卒業教育講座や臨床推論ステップアップ講座、実務支援セミナー等を展開するほか、リカレント教育として履修証明プログラム「Lehmann(レーマン)プログラム」を開講。高い専門性を備えて、今後の医療を牽引する薬学のエキスパートの養成を目的とし、薬剤師のステップアップを支援している。

京都薬科大学

専門・認定薬剤師資格取得に必要なスキルを各1年のコースで支援する。薬学的視点に基づいた症例解析や症例報告書の作成技能を学ぶ「症例報告書作成コース」、適切な研究計画を立て実践する技能を学ぶ「研究計画・実践コース」、分かりやすい論文を執筆できる技能を学ぶ「論文作成コース」の3コースを展開する。

コース修了後に、別コースを継続履修する履修生も年々増加。コースは個々人のレベルで受講できるよう、初年度は症例報告書作成コースからスタート。その後、研究計画・実践コースから論文作成コースに進む人



村木氏

てきている。

レーマンプログラムについて京都薬大生涯教育センター長の村木優一氏(臨床薬理学分野教授)は「社会で活躍するリーダーを養成することが目的。研究対象を論理的思考で評価し、発信しているアカデミックスキルを身につけることで将来的な大学院進学や学位取得につながるプログラムとして位置づけている」と話す。

プログラムの特徴はメンター1人に履修生1、3人程度の少人数制を採用しており、丁寧な個別指導が受けられる点。講義で学んだことを演習で深めるなど体系的に学ぶことで、根拠に基づく医療の実践にもつながる。また、様々な病院、薬局で働く薬剤師が集まるた

院薬剤師からは「自己流で研究計画や論文作成を行うのではなく、論理づけたプログラムで学びたかった」とする意見や、薬局薬剤師からも「日常的に症例に触れているが、それをどう形にしていけばいいのかが分からなかった。そのヒントを求めて履修した」との声が聞かれたという。

レーマンプログラムは22年度の大学基準協会の認証評価で、「リカレント教育を卒業生に限定せず、門戸を開いて活性化を図られている」という点で「Good Practice」に選定されている。履修者は卒業生も増やしつづ、他大学卒業生も受け入れることでシナジー効果が期待される。

今後、他大学の薬学部や医療現場とも連携を深め、卒後の臨床薬学教育の充実につなげたいと考えている。

同大生涯教育センターでは、レーマンプログラムとは別に25年度の生涯教育年間プログラムの中で「アカデミックスキル基礎講座」を新設し、9月7日に開催する予定

だ。同講座では薬歴や症例報告における文章の書き方などの基本を学ぶ。模擬症例を用いて症例報告を作成し、その内容についてディスカッションし改善点などを拾い出す。また症例の見つけ方や認定・専門薬剤師の資格取得に必要な症例報告を学ぶ。

村木氏は「レーマンプログラムの症例報告書作成コースをもっと平易にした内容で開講する予定で、レーマンプログラムの入門編のような講座を体験することで、受講者がより深く興味を持ち、意欲につながれば」と期待する。来年度以降は、論文検索や統計解析の仕方などを取り入れる計画だ。

村木氏は今後について、「現状はしっかりとした仕組みを構築することには比重を置いている。そのことで履修生がリーダーとして現場で活躍できるようつなげていきたい」と展望している。

なお、レーマンプログラムの26年度履修生の募集は来年1月開始予定としている。

学びを、
ともに。

#目標は、薬学のエキスパート。

Lehmannプログラム

薬学研究を牽引してきた京薬によるリカレント教育



- 少人数制で丁寧な個別指導
- 講義と演習の体系的な学び
- スクーリングは年8回(土・日)のみ
- 充実のe-learningコンテンツ

Lehmannに繋がる生涯研修プログラムの新設講座

New アカデミックスキル基礎講座

開催日時 9/7 日 9:30・16:00 申込期間 7/9 水・8/25 月



アカデミックスキルの基本を学ぶ【症例報告の作成】

薬歴や症例報告における文章の書き方の基本を学んだ後、実際に症例報告を作成して学んだスキルを実践。教員とのフリー討論の時間もあり、具体的な相談も可能。

京都薬科大学
Kyoto Pharmaceutical University

京都薬科大学生涯教育センター TEL: 075-556-4677 Email: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp